

あいだのすみっこ不定期漫遊連載 第24回

# 五月病の季節を迎えて ——美術大学入学者の意識調査

## 入学時点希望調査 将来計画等累計

京都造形芸術大学全学教育「美術と歴史」において  
(授業登録者197名 回答数164通 実施：2002年4月17日)

### 稲賀 繁美

(いながしげみ/国際日本文化研究センター、  
総合研究大学院大学)

昨今の若者たちは、美術大学入学時点でいかなる意識をもっているのだろうか。

2年ほど前に、大学での授業の枠をお借りして実施した調査結果をここに公表したい。

京都という土地がら、そこにある美術系の大学の特徴を反映した部分も見られよう。

他地域との比較、また経年的な追跡からは、興味深い観察も得られるかと予想される。

ただ、筆者の海外長期出張などの理由で、その後同一の授業を継続できなかったため、ここでは2002年度の年度初めに実施した調査の結果のみとなることを、お断りする。

同様の試みを実行して下さる同士の出現を期待しつつ、稚拙な模索の結果をお示ししたい。なお、社会学的な統計処理ではなく、むしろ学生諸君の具体的な関心のありかたに注目した。共通の関心を持つ学生が、同じ教室に集まっていることを知ってもらって、交友圏を広げるきっかけを掴んでもらい、できれば共同研究や、共同の調査旅行に発展してもらいたい、というのが、調査実施の主旨であった。ただし、週一度の非常勤講師としての、関与にとどまったため、具体的に学生諸君の関心を導くには至らなかった。このあたりの指導は、やはり専任の意識ある教員の努力に待つところが大きく、意欲あ

る学生による率先も期待される。また、大学には入ったけれど、目標がない、という学生諸君に、5月病回避の意味も込めて、啓発を試みる意図もあった。いまや最高学年を迎えている当事者の諸君が、改めて2年前の自分たちの姿から、何を掴んでくれるだろうか。この調査の経験を踏み台にしていまや大きく羽ばたき、自分の進むべき道を見だして日々奮闘してくれることを、祈っている。

最後に、ご協力頂いた、学生諸君ひとりひとりに謝意を表し、また本アンケートにご好評をいただいた、芳賀徹学長にも、一言御礼申し上げる。

稲賀繁美

\*一人で複数項目記入した者もある。項目末尾の( )内数字は、同種回答が複数にわたるもの。

①半年計画 [4月から7月までに、何が具体化され、何が実現されたか、夏休み前に確認したい]

Java リラックス 生活リズム 自分探し 環境適応 遊びたい 貯金 一人暮らし 自己流表現 遅刻をしない 大学生らしくなる 家具を買う 家のドアノブを修理 カフェ・バイト 創作料理レシピ作り 京都に慣れる enjoy京都 「京都巡り同好会」発足 北大路一北山を自分の庭に 寺社見学 京都美術館巡り 関西を極める ライヴに行く 寺社の祭見学 夢想園(九州の温泉)訪問 親友を造る たくさん絵を描く 羞恥心克服 リサイクル・ショップ巡り ダンス・スクール ジム通い コーヒーの専門家になる フリーハンドで明朝体 コンピュータ基本操作 車の免許(3)登録単位取得 色彩検定合格 AFT.TOEIC 700 スキューバダイビングの資格(2) 資格は取りません 絵の模写 パソコンで作品編集 学園祭大個展計画(2年生) 東西美術の流れを学ぶ 服を作る ダンボールで室内装飾 オブジェを作る 照明製作 芝居の脚本を書く 漱石全集読破 劇団四季『オペラ座の怪人』フリーペーパー発行計画 三味線部 ダンスのステージ 納得行く銅版画作成 コンテスト出場 レギュラーイベントを持つ 自主製作作品完成 公募展出品入選(箔付け) ホームページ作成(営業/フリーランス用) コンペ参加公募部(Bob)の仕事 音楽と映像を組み合わせた作品による空間演出 夏には旅行 琵琶湖で泳ぐ 二条城ライトアップ 大津市コラボレーション ダイエット 甲子園高校野球見物 芸術社会学 奈良仏像全調査 韓国遺跡調査 古文書解読 文化財科学 海外雄飛 世界に目を向ける、日本も忘れない 超人を志望する 何に興味があるのかを考える 自分の好きな物に気づくこと

②一年計画 [着実に実行に移っているか? 計画の拡大変更はどうか? 自分を見つめ直したい]

早起き 健康ダイエット 受験からの脱却 CGI からだを柔らかくする 単位を

取る 就職先探し 花嫁修業 学園祭出店 計画:くつろげる場所造り 部屋を住みよく 30万円稼ぐ コース内留学 自己探求 自立手段を探す 髪を延ばす(成人式向け) 色彩検定合格 ギターをマスター ウッドベースがうまくなる 偉大な書家の模写百枚以上 料理上手になる 京都市自転車一周 バックバック旅行 バイト代で旅行 音楽療法 NHKラジオ講座 文体向上訓練 現代美術鑑賞 西日本を極める マック・マスター 古いカメラ 飛行機造り始め 英語マスター リスニング フランス語がんばる 人形製作 部屋改造 展覧会への作品出品 グループ展実現 展覧会を3度は実現 遺跡発掘 銅版画作品集出版 師匠を見つける 遠くの町へ行きたい ポートフォリオ製作(就職活動) 映画っぽいものを造る 素敵な絵を描き続けられる 大阪でそこそこ有名になる 東京に出る インテリアデザイナー資格 短期留学 飾宝の勉強(パリで) 修復工房訪問 紙梳き体験 樹木の名前を覚える 京都外国人案内のヴォランティア 自分の絵に方向性を 毎日きれいだと思ったものをひとつずつ写真にとって日記を造る 奨学金交換留学 具体的に考える あせらず考えたい何を一番したいか考える 自分の好きなことを見つけたい 4年間で何かをやり遂げた い 自分のことを分かるようになること

### ③卒業後人生計画

すばらしい人間になる 肩の力の抜けた 心のひろい人になる ひとりだち 結婚する 子供を増やしてつれてゆく この学校を支配、と言うか自分のモノにする 気分安定 Webデザイナー(2) 就職が先決 京大農学部進学 人脈作り 美術館勤務 学芸員 仏教美術研究者 壁画修復の仕事 文化財保存 舞台関係 絵画関係 絵と詩 映画 インテリア・コーディネーター資格 ニューヨークで個展 本の表紙を描く 雑誌編集 もの造り 画家 海外青年協力隊 UNICEF就職 和風テイストで行こう ライター イラストレーター グラフィック・

アート カメラマン ジュエリー・デザイナー 能面打ち弟子入り 陶芸作家? 家にもって人形を造る CDを出す 建築インテリア・デザイナー マンガ家 やりたい仕事 沖縄暮らし ジブリかスクウェアに就職 (抑圧なく) ものを作(れ)る職業 デザイン事務所勤務 広告代理店/ただしすぐ退職してフリーランス ゲーム会社に就職 ゲーム映像開発担当 音楽 映像 空間演出家 教員免状をとって高校の教師? 「日本を極める」 裏の支配者になる 外へ外へ 韓国で芝居を打つ 外国に行くしかない 外人と結婚 ブラックジャックと結婚する イギリス留学 世界1の建築家になる ロンドンのVictorial & Albert で勉強 パリのクチュリエ学校へ 地中海の近くでイタリアン・グラスと家具作り すきなことをして暮らす 中国に帰り 自分にふさわしい仕事を いかすタイ・マダムになって長生きする ずっと何かを探索 ヒミツ 何もわからない まだ未定好きなことができる仕事を探したい

④ 感動を分かち合おう [何に感動したか新鮮なうちに、しっかり文章に書き留めよう]

はじめての一人暮らし 高校の学校生活 高校の卒業式 合格発表 大学合格 友達を送り出してくれた 友人とも別れその言葉 大学の授業 身近なひとの優しさ 久々にあった友人 『カラマーゾフの兄弟』 読破した 人、人との出会い いろんな人に会えた 先生の親切 スペイン・ポルトガル旅行 dotsの公演お手伝い ある人の言葉 初めてのアルバイト バイトを始めて自分の欠点に衝撃! 涙ぼろぼろ 母と喧嘩して帰ったらご飯できてた おばあちゃんの手 祖母の退院 小学校の帰り道の女の子が唄を歌ってた さとうきび島で一時間半のけんか この一年で自分が大きくなったこと シフォン・ケーキ焼けるようになった 尊敬している人と話ができた 竹本【嶽本では?】野ばらに会った 吉野の山で皆既月食友人と合宿 下賀茂神社の樹木 京都の町 並み 瑞泉寺ファッション

ショー Taboo Night 失望ばっかし…… 城崎 夜の星 天橋立で見た星空 「あっちくん」のイベント 絵画の歴史に目から鱗 ツーリングで夕日 スノーボード 合宿最後の日の朝日 地球が丸いこと 上海の花火 Mr.Bigのライブ 京都留学生音楽祭 手をつないで歩いていた老夫婦 日本に留学できたこと 京都造形芸大入学 猫を2匹拾った シュヴァイツァー『生命への畏敬』 尾崎豊 ブッダの言葉 宮崎賢治の「雨ニモマケズ」 映画『エイミー』の主人公の歌声 いつも感動している CD 「トモダチ」をもらった「ノゾッさん」 母が50万円拾った 芸術表現は世界を変える うまく言葉にならない 思い出さない あまり感動したことがない 先生なんかにはおしえないよー? 「こんなやり方では『感動を伝える手初め』にはなりません。不十分にも程がある! くだらない」 [もちろんです。ぜひとも自分で満足ゆく方法で表現して見せてください、期待しています]

⑤ 感動した作品 [感動を言葉で友人に伝える努力も大切です。言葉の無力を知るために]

神護寺の薬師如来 王羲之の書 下貼文書 (歴史遺産) (2) 修復職人業 壁画修復 ヴァチカンのミケランジェロのピエタ Miho美術館 長谷川等伯『松林図屏風』 歌舞伎 (中国からの留学生) ルーヴルの『ナポレオンの戴冠』 ファン・ゴッホの『アーモンドの木』 山下清 ピーター・マックスの素描 モンドリアンの絵 会田誠『オルガス伯の埋葬』 伊藤若沖『動物彩絵』 大原美術館のモロー デ・キリコ ロンドン王立芸術院 「1900年のパリ展」 歌川広重 コートールド美術館のマネ [アルフォンス・] ミュシャ 鏑木清方 長谷川潔の銅版画 (京都国立近代美術館) 長谷川利行 ピアズリーの『サロメ』 竹下夢二 パウル・クレー アンドリュウ・ワイエス [岡本] 太郎の『太陽の塔』 石本正の日本画 草間弥生「ナルシスの庭」 横尾忠則 赤瀬川原平の『0円札』 (先を越された) フランク・ステラ 馬子虎展

(横浜美術館) 大島弓子 『四谷怪談』  
長新太『キャベツ君』 岡崎京子『リヴァ  
ーズ・エッジ』 古屋うさまのマンガ  
マーク・ヴォズウィックの写真(『流行通  
信』) ロバート・キャバ展 アンリ・カ  
ルティエ・ブレッソンのカシミール写真  
『Go』 同時多発テロチャリティーCD  
モーリマスクダンス 舞台芸術 蛭川幸雄  
演出三島由紀夫原作『身毒丸』 山海塾  
「かげみ」「オペラ座の怪人」(ロンドン)  
Miles Davis "Kind of Blue" Water Boys  
劇団四季の「Cats」ハリウッド映画 舞  
台セットのデザイン 「鯨の陰謀」彦根  
城 ミハヤエル・エンデの『モモ』 円谷  
ぷろ「ウルトラQ」 シュヴァンク・マイ  
エルのアニメ(2) ミッシェル・ゴンドリー  
(読み方わからん) ダフトパンク ケミ  
カルブラザーズ ピョーク・レディオヘッ  
ド フーフファイターズ ベック 『レオン』  
リュック・ベッソン Fifth Element ジャ  
ン=リュック・ゴダール『勝手にしやがれ』  
石橋義正映像作品 Vermilion Pleasure  
Night (2) 『サ・セル』(監督名忘却)  
リリイシュシュのすべて(岩井しんじ)(3)  
小津安二郎『秋刀魚の味』 石井勝仁のCM  
「鮫肌男と桃尻女」 「Paty 7」 イマイ  
[イワイでは?] シュンジ『Yentownland』  
[YEN TOWN BAND] 『Dog Star Man』  
『羊たちの沈黙』の音楽 久米田広康治  
ハーモニーコリンの『ガンモ』 ヴィンセ  
ント・ギャノの『When』 映画『アメリ』  
表千家 不審庵 テレ朝の撮影用ステージの  
ハ ママリボテ大道具 サガンの『悲し  
みよこんにちは』 村上龍の『コインロッ  
カー・ベイビーズ』 ソフィア=コッポラの  
『ヴァージンサイズ』 手塚真の『白痴』  
恋月姫の人形 Nanta (韓国, お芝居)  
ケイトブランケット(『エリザベス』の)  
リヤド(Art vivantで) 憂歌団「生聞き  
59分」ジャパニメーション 宮崎駿(『千  
と千尋』)ジブリのアニメ 日比野克彦  
忠犬八公物語 Sweet Box 森村泰昌  
『女優M』 アール・デコ展 ロダンの素  
描 イヴ・サン=ローラン引退コレクシ

ョン ジャン=ポール・ゴルティエ マルタ  
ン・マルジェラドリス・ヴァン・ノッテン  
三宅一生 川久保玲 『沈黙と饒舌の間』  
(竹之内豊, ケリ・チャン, 椎名桔平)  
初めて聞いたもともとせ [はじめ・ちとせと読む]  
の歌(「島唄」) 路上で聞いた「翼をく  
ださい」 ストリートアーティスト グラ  
スホッパーのvideo FXのending 『シン  
ドラーのリスト』 『ロード・オブ・ザ・  
リング』のC.G. つげ義春/竹中直人『無  
能の人』 アラーキー『Aの日記』 ジェ  
イソン・ベッカー 新井英樹『キーチ』  
岩井俊二の『ピクニック』 アンコールワ  
ット 真如堂(真正極楽寺)ガウディのサ  
グラダ・ファミリア教会 原広司のスカイ  
ビル 3回生の造った3世帯住宅プレゼン  
テーション 東京エルメスの建築 安藤忠  
雄  
感動するほど物を見てない……

⑥外国語をものにしよう [自分ならではの特  
技開発にやや積極性が見られないが……]

英語のみ/留学希望者コースあり コリ  
ア語 イタリア語(抽選漏れ)(2) ドイツ  
語 フランス語(人数over/抽選漏れ)  
スペイン語 日本語(留学生) 中国語(抽  
選漏れ) 「外国語はやらない」

⑦旅したい土地, 住みたい街 [できるだけ  
具体的な夢を膨らませるのが現実的]

国, 地域 欧州サッカー行脚 北欧(デ  
ンマーク, スウェーデン:家具, 建築)  
アイルランド ケルト スペイン ベルギ  
ー イギリスの田舎 ウェールズ シチリ  
ア ギリシア アジア 東南アジア モン  
ゴル チベット インド(ガンジス川)  
タイ(アユタヤ, バンコク) ミャンマー  
トルコ 南国でゆったり フランスお城巡  
り モンゴルで遊牧 ハワイ・オアフ島,  
タヒチ(ダイビング・ライセンス付き)  
(2) ベルー エジプトでピラミッド前ラク  
ダ(2) ニュージーランドでホーム・ステイ  
韓国(焼き肉) マダガスカル ポルトガ  
ル城巡り 夏のオーストラリア(日本の冬

を避け) 北海道 月旅行 アメリカ大陸  
中部(ユカタン半島) アフガニスタン  
ジャマイカ(レゲエ)

都市 アテネ(パルテノン) プラハ  
ザンクト ペテルスブルク バロセロナ(サ  
グラダファミリア(2)) スペイン縦断 ロ  
ーマ ミラーノ フィレンツェ ヴェネチ  
ア ポンペイ イスタンブール 敦煌 シ  
ンガポール シャンハイ イースター島  
(モアイに会いたい)(2) パハマ, サイバ  
ン パリでルーヴル美術館 ロンドン滞在  
グラスゴー マンチェスター カンタベリ  
ー ベルリン インド洋 イエルサレム  
イスタンブール マチュピチュ カッパド  
キア ホンコン バリ島 沖縄 ベルン  
(パウル・クレー) ニュー・ヨーク/グ  
ランド・ゼロ ラスベガス

具体案 ニューヨーク観劇ツアー 現代  
美術ギャラリー巡り パリ(ダイビング)  
東欧芸術家工房探訪(ヴィーンのエゴン・  
シーレ, プラハのシュヴァンクマイエル(2))  
メキシコ(フリーダカーロの青い家も)  
世界遺産巡り(白神山地, モン・サン・ミ  
シェル) フランスBand. Dessine研究  
イエローストーン公園 ピースポート フ  
ィリピンにホームステイ ピーターラビッ  
トの作者ヴィクトリクス・ポターがナショ  
ナルト・ラストで買った土地 ボマルツォ  
の怪庭園 ゴッホ美術館 オランダ絵画紀  
行 世界放浪 アフリカのサヴァンナ(2)  
アンコールワットの遺跡(3) 難民と呼ばれ  
る人達がいる所か, 日本より貧しい国。自  
分が生かされているということを知り, 自  
分たちの生活によって潰されていくモノを  
知るべきだ 飛行機が怖いから外国には行  
かない

⑧ 教養とは何か [この問いにしゃれた答えを用  
意しておくのも教養のうち]

自分のために蓄えるもの ものをよく見  
る眼鏡/質の高い人生に必要なもの 生き  
るのを少し楽にしてくれるもの 自分のか  
らを破るもの 裸の王様(見えるものには  
見えるが……)? この世から戦争を無く

すために 社会に出て恥ずかしくないよう  
にするためのもの 人生で役立ちそうだが,  
実際は役立たぬもの? 自分から身につけ  
るもの あって損はしないもの 金はなく  
とも心は錦 ガウディーの「貧乏と貧困」  
貧困とは心の貧しき教養がないからまだ(教  
養については)語れない 年とっておばあ  
ちゃんになっても持っていたいもの 頭に  
いれるのが大変だア/知りたいけど知るま  
でがメンドー 子供のような。育て方次第,  
一生ついてくる ジーンズのような使い込む  
と味が出る, 愛着が必要 波紋のよう, 広  
がってゆく豆腐みたい 腐っても生えるも  
の 冷蔵庫のなかの京豆腐(使わないと腐  
るだけ。うまく使えばおいしいよ) 小説  
のごとし, 読めば読むほど筋になり, 感動  
から遠ざかる その人の人生の歩み  
教養ってわからない 教養とは材料だ ひ  
とつの箱に詰め込まない 空気伝染するも  
の, 形のないもの 気体のような。酸素か  
サリンか 葉のようなもの(良薬口に苦し)  
ファンデーションの生地(なくても乗るが,  
あればキレイ, 肌も守れる) 自己満足  
ないよりはあったほうがよいが, 邪魔にな  
るときも 底無し沼 海ににている 頭が  
固くて思いつかない(柔らかくする訓練と  
です) 数学の三角関数(生きるにゃ無駄  
だが, やらねばならぬ) 品(あればよい  
物) 見合いのときに役立つ カーテン:  
開くと光が 「知識」は贅肉だが, 教養は  
生活で身につく自然に出てくるもの 鏡み  
たいなもの(2) よい意味でも悪い意味でも。  
いざと言うとき守ってくれるが, 日常生活  
では重たい わさび・コップに継がれて行  
く水 携帯電話(無駄遣い, 依存症, 便利  
だが) クローゼットのなかの衣服 地震:  
いつ試されるか分からない。備えがないと  
痛い目にあう。でも持っていたからといっ  
て助かるとは限らない 取り入れ過ぎて  
も生きにくく, 全く取り入れなくても生きに  
くい ヤモリ: いつのまにか家(脳)にい  
て, 害虫を取ってくれる どんなくだらな  
いギャグでも教養が無ければ笑えない 知  
らなくても住む[済む?]のは別に関係ない

こと 教養の意味がよくわからない 教養より大切なものがある 非常識は困る 人目を気にした教養は自分を見失わせる グルメ系(求めるだけ吸収, ただし太り過ぎに注意, 運動一役立てること一が必要) クモの巣: 雨上がりには露が宿って美しいが, 顔に絡み付くと煩い お金: 無いと恥ずかしいが見せびらかすのも恥ずかしい etc.

⑨ 見に行きたい展覧会 [順不同: その記録を展覧会評りポートにして文章化して欲しい]

人体の秘密展(6) カンディンスキー展(5) エッシャー展(4) 兵庫県立美術館開館展(3) 葛飾北斎展(奈良県立美術館) (3) 山本容子(2) 東大寺のすべて展(2) ミロ展(2) 「歌麿とその時代」展(2) 「掘りたて恐竜展」伊勢丹美術館「えき」(2) [以下は各1票] 田名綱展 プラハ美術館展 子供のためのデザイン展(香川県) アレクサンダー・カルダー 上村松皇 韓国名宝展 写真新世紀写真展 栃木県立博物館 竹久夢二展 ファッション美術館 中国美術史 スペイン・プラド美術館展(東京) 伊藤若沖展 「害虫」(みなみ会館) パスキア 二条城デザイン・フェスティバル "絵の詩人"(名前忘却) 夢工場の逆襲 イメージ・フォーラム 尾田龍 ファン・ゴッホ展 東京五美大展 ポップ・アート展(東京) クリムト展 安藤忠雄の設計 奈良義智展(広島現代美術館) ジミー大西, パブロアマリンゴスクリーン・メモリーズ展(水戸芸術館) 建仁寺展 馬のオマージュ展 清流展 河鍋曉斎 スヌーピー・サイン会 カメカメラ展 染展(市立美術館) 人があまり行かない展覧会 Nothing

⑩ 授業への期待・要望 [末尾 [ ] 内は教師によるコメント]

聞くだけでなく, 考える授業(3) 一方通行は嫌 座りっぱなし, 聞きっぱなしは苦手 高校のような歴史はやめて欲しい あっさり, 広く浅く グループ学習は理不尽な評価になる(2) [評価方法に問題があるようです]

個人責任分担評価+グループ相乗評価をうまくやれば理不尽は防げます] 幅広く実用的な授業発言の場を広げよ 対話のある教室を 専門用語は繰り返せ (眠くなるから) 板書しろ[欧州では板書はしません] 眠くならない授業を 板書の字を大きく 字が汚い 授業に期待なんかしてない プレッシャーは嫌 楽しくなごやかな授業 ガイジンなのだ, むづかしいこと言うな 詰め込みは嫌 体を動かせる授業 [動かしてもらって結構] 雑学脱線に期待/脱線はやめろ, 無駄が多すぎる 思いつきで話をするな/話が縦横で意表を突き面白い このままでよい先生の個人的体験を(3)/自分のことなど話すな しゃべり過ぎだ 学生の脳みその容量を考えよ テンポが早すぎる 早口過ぎる 質問後考えてる間は黙れ, 雑音が入って考えが纏まらない 興味深い/自分の興味と関係ない プリントの印刷が見にくい/作品名だけのリストより助かる マイクの音が大き過ぎる/マイクの声が小さい 絵画や壁画だけでなく, 日本庭園, 講演, 建築も取り上げて欲しい [それは他に体系的な授業があります。一度にすべてはできません] 出席を取るのはやめろ 実技ではないので手法の解説をきちんと正解を示せ, 矛盾したいろいろな説を並べられると混乱する [混乱させるbrain stormingが目的です] /今まで疑問に思ってたことを問い直す切っ掛けになった 質問が分かりにくい [6割の学生はきちんと答えている。留学生への配慮不足には反省] 質問などするな [しなくなったら, 寝る人がずいぶん増えました……] 問題を出しながらの授業では頭が混乱する 考えろといいながら, 考える時間がない スライドを見たい/スライドだけでなく実物を見たい [200人の授業では実物鑑賞は無理ですね] どの授業も人が多すぎる 減って欲しい 課外授業を [非常勤職員には無理ですね] 体験学習を 部屋が寒い/部屋が暑いクーラー付けて 空教室を 自分と違う考えの人に会いたい 手取り足取りやっていたらうとうしいだけです, 小学校や中学校ではないのだから, さっさと進めてください [君は大人だが, 周囲の学生がそうでないのは,

このアンケート結果からも分かるはず]

●美術鑑賞に教養は必要か邪魔か [教師による学生諸君への弁]

(a) 教養などない無垢な感性と汚されぬ感覚器は理想 but (b) 教養がないと、なにが面白いものか見つけようがない。猫に小判：プラトンの『メノン』のジレンマ：「知っているものなら、いまさら探す必要はないが、知らないものでは、探したくても探しようがない」。教養はこの宙ぶらりんにあり。(c) 教養によって曇らされない感性を大切に。(d) しかし人生での経験は大切に：自分の航路が教養に転化する。(e) 学びてときにこれを習う、また楽しからずや。

同じ作品でも、将来もう一度みると違って見える。より良く見えるもの、足元が露呈するもの。接するときの気分、環境、条

件でも作品体験は変貌する。その変貌を大切に。その変貌のさまは自分だけの人生の糧。他人とはすぐには共有できない。だが共有しようとする努力から会話が広がる。知識を見せびらかすのはみっともないが、相槌も打てないのは悲しい。知識、教養は、会話を成立させるための必要条件だが、芸術鑑賞にとっては、その前提条件に過ぎない。

知識の背後にあって、知識だけでは汲めないものを大切にしたい。だがその在りかを見極めるには、知識=知的訓練が必要。知識は手段に過ぎないが、手段をもたなければ目的に到達することができない。適度の渴望と飽食回避との振幅。自分の収集能力、消化能力に忠実に。背伸びせず、諦めず。

教養とは、状態（完成／未完成）ではなく、（世の中を知ろうとする）姿勢です。